

# ファミサポ通信

vol.16

発行：女子医大ファミリーサポート室（委託：NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ）  
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 女性生涯教育支援センター 1階  
☎03-5369-9075 fax 03-5369-9081

3月1日発行

2016

【全体研修会】一般公開講座

## 受容と共感の コミュニケーション

——良好な関係を形成するために

講師 ● 相原真人氏（静岡福祉大学社会福祉学部教授）



▲大会議室は大勢の参加者で埋め尽くされた。



◀ ▲コミュニケーションは双方向でなされるもの。相原先生は会場の参加者から何人も意見を聴く参加型の講座で、質問にも丁寧に応えてくださった。

2016(平成28)年1月23日(土)14:00～16:00、東京女子医科大学総合外来センター5階大会議室にて、一般公開講座「全体研修会」を開催しました。会員に加え、職員や一般の参加者も多く、72名が参加しました。

子育て支援に限らず、患者様や来談者に対してコミュニケーションをとる際の基本と、支援的コミュニケーションをはかる際の留意点と配慮について講義をいただきました。具体的で、明瞭でテンポのいい相原先生のお話により、参加者は熱心に聞き入っていました。

(講義資料が必要な方はファミサポ室でお渡します)

### 参加者の感想(アンケートより)

- 大変わかりやすかったです。具体的にここが良いここが悪い等を説明いただけだったので、日常生活、社会生活で応用できるお話でした。(一般の方)
- 支援を必要とした方へは、やはり傾聴が大切だと思いました。(提供会員)
- 相手の立場を思いやり、気遣いを持って接していきたいと思えます。(提供会員)
- 患者様やご家族への対応の姿勢についてとても参考になりました。今後の仕事にも役立って行くと思えます。(職員)





# 全体交流会

2015(平成27)年10月31日(土)

11:00~16:00

東京女子医科大学

佐藤記念館3階302号室



▲スライムがこんなにのびたよ~



▲男性の提供会員さんは4人。この日、田中さんは弾き語りを交えた絵本の読み聞かせをしてくれました。歌あり、手遊びありで、大人も子ども也大いに笑い楽しませて頂きました。

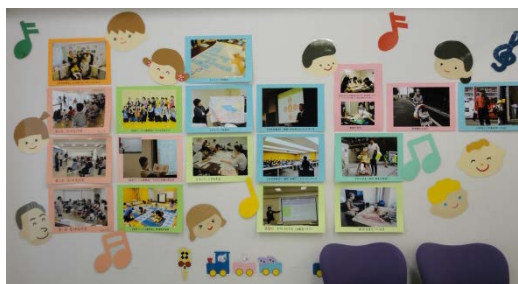
2015(平成27)年10月31日(土)、東京女子医科大学の佐藤記念館3階302号室にて、全体交流会を開催しました。前日より女子医大祭の展示として参加し、当日はスライム作り、折り紙(カラフルごま・サンタクロースなど)を来場者と楽しみました。依頼会員・提供会員の他に大学職員・学生そして受験をひかえた高校生や一般の方など、100名を超える来場者がありました。東京医大と女子医大の子育て支援の状況を内外にPRする良い機会となりました。



▲吉岡理事長もご来場くださいました。



▲ポスター発表。活動実績と会員構成グラフ。



▲講習会・研修会・サポート中の写真を展示しました。

●来場者:2日間合計 118名

- ・一般 73名
- ・子ども 13名
- ・提供会員 8名
- ・依頼会員 3名
- ・大学職員 8名
- ・大学生 10名
- ・スタッフ 3名



▲男子学生も折り紙に興味津々。子育ては男性との協力が欠かせない。



▲女子医大の子育て支援について、他の機関で働く卒業生と話すコーディネーターの村田。





## 第11期生・提供会員誕生

2015(平成27)年11月9日(月)～12月3日

会場:東京女子医科大学健保会館大会議室

第11期保育サービス講習会(30時間7日間)では23名が修了し、新たな提供会員となりました。これで提供会員は187名になりました。東京医大の職員OBの方や保護者の方、女子医大病院のボランティアの方など、長く両大学に関わってきた方々が受講され、頼もしい限りです。本事業に対して良く理解して賛同してくださっており、充実した講習会でした。



## 第2回スキルアップ研修会……ワールドカフェ



日頃気にかかっていることや困っていることを解消し  
良かったことを共有し、勇気づけられ

明日からの活動に役立てる何かを持ち帰る。

2016(平成28)年2月19日(金)13:30～16:30 講師:野原理子氏  
会場:東京女子医科大学健保会館大会議室

参加者:提供会員24名

ワールドカフェは1995年にアメリカで始まった話し合いの手法です。4～5人でテーブルを囲み、カフェにいるような雰囲気で、自由にオープンに会話をします。1ラウンド20分の話し合いを、ラウンドごとにテーブルを自由に移動して、これを4ラウンド行いました。話す時は自分の思ったこと、感じたことを大切に、聴く時は傾聴を心がけるという約束で話し合ったそれぞれのラウンドのテーマは、

- ①活動について、楽しいこと。
- ②活動中、子どもとの関わりで、困ったこと・気がかりなことを解消する。
- ③依頼会員・コーディネーターとの関わりで、困ったこと・気がかりなことを解消する。
- ④安全に楽しく活動するために実践したいこと。

話し合いでの役割や発表がないため、リラックスして参加できたようで、受容し共感しながらのワールドカフェは、明るく楽しかったとの感想が多数寄せられました。また視点が変わり、自分の気づきもあり、不安がなくなり元気をもらったとの声も聞かれ、情報を共有し、それをもとに新しいアイデアや明日に生かせる知恵を手に入れることができました。

最後に野原先生より重大事故発生時対応フローの説明があり、楽しくも厳しい有意義なスキルアップ研修会でした。

- 自分の活動だけだとマイペースでマンネリ化のところもあったかなと改めて感じました。皆さんとても丁寧かつまじめにお子さんと接しておられ、その方々の良さをたくさん感じられました。傾聴に関しても意識することができ短い時間ながら良い経験をさせて頂きました。
- 毎回席を替えるため色々な話が聞けて良かったです。事例を聞くことで、良いところやヒヤリハットも聞けて良かったです。



- 活動中の方々の経験された事例はとても参考になりました。ワールドカフェ方式では色々な人達の話をもっと聴けたので自信につながりさらに前向きになれました。これから活動させていっていただくことが楽しみになりました。
- 傾聴に関しては目からうろこという感じでした。何回も勉強する機会があっても満足した解答はありませんでしたが、今日の講座で納得できました。

## M 利用した感想

依頼会員さんから

今回ファミサポをはじめて利用させていただきました。

【事前打合せ】では好きな遊びなど話しながら、当日の過ごし方も一緒に考えてくださったので、当日は「今頃は公園かな？」と思いつつ私も安心して仕事ができました。

娘が人見知りするのでは…と少々心配しましたが【事前打合せ】のおかげで提供会員さんにすっかりなつき、「次いつ来るの？」と楽しい時間を過ごしたようです。

その後数日間「〇〇さんと一緒にこうやって折り紙したんだよ～」など楽しい思い出のように自慢げに話し、提供会員さんの対応に感謝しきりです。

東京医科大学医学部看護学科  
講師 田村知子（依頼会員）

## 【初めての利用までの流れ】（編集後記に代えて）

田村さんが登録したのは東京医大がファミリーサポート事業を開始した年の最初の登録説明会でしたから、2014年の5月。それから約1年半以上過ぎての初めての依頼でした。

祝日に仕事があり、保育園は当然お休み。夫は海外出張で困って、保育希望日1週間前にファミリーサポート室に電話が入りました。コーディネーターが提供会員さんを探し紹介して、保育希望日の2日前に【事前打合せ】を田村さんのお宅で行いました。

保育当日は8:00～16:00とやや長めのお預かりでしたが、田村さんが4才のお子さんに、ファミサポさんが来たら楽しい遊びがいっぱいできるよと安心できるようにお話をしておいてくださったようで、提供会員さんはお子さんのリードを大切にしながら、お店屋さんごっこ・あやとり・おりがみ、公園にお散歩に行ってお花を見たり、どんぐりを拾ったりしてとても楽しく過ごすことができました。

3才を過ぎるとお子さんたちはファミサポさん（提供会員）が来るのを心待ちにしているという話をよく聞きます。保護者の方が温かく提供会員さんを迎えていてくれるおかげです。提供会員さんも心から子どもとの時間を楽みます。ファミサポから生まれる信頼の輪がさらに広がっていくのを切に願っています。（コーディネーター村田）

## 2016(平成28)年度の予定

※日程・会場は変更される場合があります。詳細は後日お知らせします。

### ●第12期保育サービス講習会……6月8日(水)～7月上旬（全30時間）

会場：東京女子医科大学健保会館（新宿区若松町）

### ●前期スキルアップ研修会……9月中旬

### ●全体交流会……10月29日(土)※女子医大祭のイベントのひとつとして開催

### ●第13期保育サービス講習会……11月1日(水)～(全30時間)

会場：東京医科大学病院会議室（新宿区西新宿）

### ●後期スキルアップ研修会……2017(平成29)年1月下旬

NEWS  
MEMO

## 2016(平成28)年4月より、女子医大ファミリーサポートは 女子医大・東京医大ファミリーサポートになります。

2014～2015年度まで文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」東京医大女性研究者支援事業女子医大ファミリーサポート連携プログラムとして『女子医大ファミリーサポート』は運営されてきました。同じ新宿区にある大学として東京女子医科大学と東京医科大学がさらに連携を強め、今年4月より『女子医大・東京医大ファミリーサポート』と名称を改め、活動を続けて参ります。登録内容・活動内容については今までと変わりはありません。これまで通りご支援をよろしくお願い致します。



会員合計	398名
依頼会員	207名
提供会員	187名
学生サポーター	4名

2016年2月末日現在

## 女子医大ファミリーサポート室

〒162-8666 新宿区河田町8-1 東京女子医科大学 本部・女性生涯教育支援センター1階（内線6-8152）

●受付時間 月～金曜日 9:00～17:00 直通☎：03-5369-9075 fax：03-5369-9081

family-support.bm@twmu.ac.jp http://www.twmu.ac.jp/w-support/family-support/

160-8402 新宿区新宿6-1-1 東京医科大学 医師・学生・研究者支援センター ☎03-3342-6111(2044・2047)